

育成を目指す資質・能力

本時のねらい：分数÷整数の計算の意味や計算の仕方を考え、その計算ができる。

ICT活用のポイント

自分の考えを自分に合った方法で表現できるように、ノート、ワークシート、ICT端末、ホワイトボードなど表現方法を児童に選択させる。

【つかむ】自分や仲間の気持ちを共有するため、学習支援ソフトで回答させ、学習に対して自信がある仲間もいれば不安な仲間もいることを感じさせる。

【追究する】
自分で考える・自分で表現する。
仲間の考えを知る・仲間の考えに共感する。
自分の考えを調整する。

【まとめる】
学びの成果を蓄積する・学び方を振り返る。

事例の概要

【つかむ】
レディネス等の結果から、本時の内容の理解度や自信を可視化させる。

【追究する】
自分で考える場面では、図や絵を紙にかいたり、共有スライドにかいたりする。仲間と共有する場面では、共有スライドで共有したり、紙にかいたりする。仲間に教えてもらったことを元に自分の考えをまとめ、仲間と確かめる。

【まとめる】
本時の内容のポイントと学び方の振り返りを表計算ソフトにまとめる。

【算数・小6・「分数のかけ算」】②

【事例におけるICT活用の場面】



○学習過程と事例におけるICT活用の場面との関係

日頃より個人で考える場面とクラスの友達や先生に聞いたり、説明したりすることがスタンダードになっている。

○ICTを効果的に活用するためのポイント

自分の考えを蓄積し、友達に考えを説明し、自己調整を促している。

○児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット

考えや思いを可視化できる。自己調整の道具になる。

○活用したソフトや機能

学習支援ソフト：思いや考えの共有と可視化

共有スライド：考えをアウトプット

オンライン動画教材：知識のインプット